

解 答	1 (A)	2 (C)	3 (B)	4 (B)	5 (B)	6 (D)
	7 (A)	8 (C)	9 (A)	10 (D)	11 (C)	12 (A)
	13 (C)	14 (B)	15 (A)	16 (D)	17 (A)	18 (D)
	19 (B)	20 (B)				

1. 「医師は私に徹底的な検査を行い、この薬を6時間ごとに服用するようにと告げました」

【語法(形容詞)】パターン

- ▶ (A)~(C)は形容詞、(D)は前置詞で空欄直後のsix hoursと関わっています。本問ではsix hoursと複数形になっていることがポイントです。
- ▶ まず、(C)eachは単数名詞を修飾するので不可です。(D)perは、per+[無冠詞の]単数名詞で「〜につき/〜ごとに」という使い方をするので、six hoursに適合しません。複数形を修飾できる(A)、(B)のうち、every+数詞+複数名詞で「〜ごとに」という意味になる(A)everyが文意に適合します。

2. 「ユウコはどうかしたのかな。彼女はあまり幸せそうに見えません」

【前置詞】パターン

- ▶ 選択肢がすべて前置詞のパターンです。前置詞パターンでは、まず空欄前後に特定の前置詞と結びつく表現がないかを捜し、なければ前置詞固有の意味から文意に合うものを選びます。
- ▶ 本問では空欄直前のwhat's the matterがヒントです。What's the matter with A?で「A(人)はどうかしましたか」という意味の会話表現になりますので、(C)withが正解になります。

□ What's the matter with A? 「A(人)はどうかしましたか」
(= What's wrong with A?)

3. 「最近の練習のおかげで、あなたのピアノ演奏はとても素晴らしいものになりましたよ」

【時制】パターン

- ▶ 選択肢にはbecomeを述語動詞としたさまざまな完了時制が並んでいます。時制パターンでは時制を決定するキーワードを探しましょう。本問ではrecentlyです。
- ▶ recently(最近)は通例完了時制(過去時制も可)で用いますので、現在完了形である(B)has becomeが正解です。

4. 「ポールは怠け者だけれど、それでも何とか割り当てられた仕事を仕上げました」

【語法(接続詞)】パターン

- ▶ 選択肢には(C)evenを除き、接続詞が並んでいます。...Paul isというSVを含む節をつないでいるので空欄には接続詞が入ると推測できます。
- ▶ 空欄を含む節の構造を分析すると、Lazy () Paul isとなっています。こ
形容詞 主語 動詞

のような語順に入れることができる接続詞は(B)asのみで「ポールは怠け者だけれども」という意味で後続の節ともつながるので、これが正解となります。

□ 形容詞[副詞/名詞]+as S+V 「Sは〜だけれども」

Cold as it was, we went out. (寒かったが我々は出かけた)

5. 「ソフィーは彼女の予約が確かなものかを確認するため、航空会社に電話をしました」

【動詞の形】パターン

- ▶ 選択肢には動詞confirm(〜を確認する)の様々な形がなっています。confirmは他動詞ですが、ここでは空欄直後に目的語がないことから受動態である(B)was confirmedが正解になります。

□ make sure that節 「必ず〜するように手配する/〜を確かめる」

He made sure that the job would be properly done.

(彼はその仕事がきちんとされるように手配した)

6. 「私の弟は愛知県のすべての高校の中で一番上手なサッカー選手です」

【比較】パターン

- ▶ 空欄前のis the best soccer playerから最上級に関する問題であることが分かります。空欄には「～の中で(最も…な)」という意味となるようなものを選びます。空欄の後にはthe high schools in Aichiと複数名詞が続いているので(D)of allが正解になります。

■最上級における「～の中で」

・ of + 同類を表す複数の語

[例] He can run fastest of the three boys.
(彼は3人の少年の中でいちばん早く走れる)

・ in + 場所/範囲を表す単数の語

[例] John is the smartest in his family.
(ジョンは家族の中でいちばん賢い)

7. 「ボブはテレビゲームであまりに時間を使い過ぎています。それで彼の両親は彼にゲームで時間を無駄にしないようにと提案しました」

【動詞の形】パターン 難問

- ▶ 選択肢にはnotとwasteを含むものが並ぶ動詞の形パターンです。本問でのポイントは動詞suggestに関する文法知識です。
「提案・要求」などを表す動詞に続くthat節では**should**もしくは**動詞の原形**が用いられます。本問ではshouldを含む選択肢がないので、that節内が動詞の原形を否定する形になっている(A)が正解になります。

8. 「ノリコに勉強する時間がじゅうぶんになかったことを考えれば、彼女はとてもよくやった」

【動詞の形】パターン

- ▶ 選択肢には動詞consider(～をよく考える)の様々な形が並んでいます。空欄に入る語があとに続くthat節を後続の節(she did quite well on the quiz.)につないでいることから、分詞構文となる(B), (C)のどちらかが入ると考えられます。
文意から「～であることを考慮すれば」という意味になる(C)が正解になります。
[例] **Considering** (that) he has no experience, he did quite well.
(未経験にしては、彼はかなりよくやった)

9. 「レポートを書くのに手伝いが必要だったならば、君に頼んでいたでしょう」

【時制】パターン

- ▶ 選択肢にはaskを述語動詞とする様々な時制が並んでいます。本問でのポイントはIf I **had needed**...という**仮定法過去完了**のif節です。ここから主節の空欄には**仮定法過去**が入ると推測できるので、(A)would have askedが正解になります。

10. 「アンナが私を訪ねてくる可能性があったので、私は家にいました」

【助動詞】パターン

- ▶ 選択肢がすべて助動詞のパターンです。空欄を含む節がThere **was** a possibility...と過去時制になっているので、**時制の一致**からthat節内も過去形となり(D)wouldが正解となります。

□ a possibility that S will do 「Sが～する可能性」

There is no possibility that he will succeed.
(彼が成功する可能性はない)

11. 「歩行者と自転車乗りは事故に対して特に弱いので、とても注意深くすべきです」

【語法(形容詞)】【文脈】混合パターン 難問

- ▶ 選択肢の訳語を順番に当てはめる方針で解き始めると、深みにはまるパターンです。本問では主語であるPedestrians and cyclistsと空欄に続くto accidentsの関係に着目します。
- ▶ まず(A)seriousはtoにつながる語法をもたないので除外します。残る3つはtoにつながる語法をもち、(B)sensitive to ~で「～に対して敏感な」、(C)vulnerable to ~

「～に対して弱い」、(D)dangerous to ~「～にとって危険な」という意味です。文意から選ぶと(C)vulnerableが適切です。

12. 「会社のパーティーでたくさん食べたので、その夜の勘定は10万円を超えました!!」

【他動詞vs自動詞】 【語法】 混合パターン

- ▶ 選択肢には「到達」を表す動詞が並んでいます。空欄のあとに前置詞toが来ていることからまずは他動詞である(B)reachedを正解候補から外します。また、toにつながる語法を持たないことから(D)resultを除外します。come to ~で「合計が～になる/結局～となる」、go to ~で「～に到達する」という意味ですので、文意より(A)cameが正解になります。

□ come to A 「合計がAになる/結局Aとなる」

That *comes to* \$165.39 with tax.

(税込みで合計165ドル39セントになる)

13. 「サッカーチームのキャプテンになったことで、デビッドはチーム内においてリーダーとしても選手としても一番良いところが引き出されました」

【句動詞】 パターン

- ▶ 選択肢には「基本動詞 + out」の形をした句動詞が並んでいます。句動詞パターンでは文意に沿ったものを選びます。
- ▶ 選択肢の意味はそれぞれ(A)find out ~「～を発見する」、(B)make out ~「～を理解する」、(C)bring out ~「～を(人から)引き出す」、(D)reach out ~「(手・腕などを)差し出す」という意味です。主語であるBecoming the captain of his soccer team「サッカーチームのキャプテンになったこと」と目的語the best in David「デビッドの一番良い面」の関係から(C)brought outが最適です。

□ bring out ~ 「(物)を取り出す/(資質など)を引き出す/(本)を出版する」

He intends to *bring out* a new monthly magazine.

(彼は新しい月刊誌を出版するつもりだ)

14. 「ジョンはレースで最下位でゴールした後、準決勝で敗退した」

【文脈(動詞)】 パターン

- ▶ 受動態の過去分詞を選ばせる問題ということで、まずは自動詞を除外することを考えますが、残念ながら選択肢はすべてSVO型の他動詞です。構文的なヒントが得られない場合は文脈から攻めていきましょう。
- ▶ 選択肢の意味はそれぞれ(A)expell「～を除名する」、(B)eliminate「～を(競技などから)敗退させる」、(C)erase「(文字などを)消す」、(D)exclude「～を排除する/締め出す」という意味です。after finishing last「最後にゴールした後」ということから(B)eliminatedが最適です。

15. 「新しい眼鏡を買うには300ドル以上かかるでしょう」

【語法(動詞)】 パターン

- ▶ (A), (B), (C)には目的語に金額や費用を取る動詞が並んでいます。このような場合は語法問題の可能性を考えて構文を分析してみましょう。

It will () me more than \$300 to buy a new pair of glasses.

主語

目的語

目的語

構文から空欄に入る動詞は目的語を2つとるSVO₁O₂の語法をもつことが分かります。このような語法をもつのは(A)costと(C)chargeですが、chargeは形式主語itをとらないので(A)costが正解になります。人が主語の場合はcharge、そうでない場合はcostになります。

□ It costs A + 金額・費用 + to do 「A(人)が～するのに(金額・費用が)…かかる」

It cost me a lot of money to have my house repainted.

(家のペンキを塗り替えてもらうのにずいぶん費用がかかりました)

□ charge O₁ O₂ 「O₁(人)に[…の]代金をO₂(金額)請求する」

16. 「タロウは試験に備えて熱心に勉強してきたので、テストで良い成績を取ることができそ

うです」

【文脈(動詞)】パターン

- ▶ 選択肢に並ぶ単語はどれも基本動詞ですが、なかなか難しいコロケーションの問題です。目的語に **good grades** (良い成績) とあるので文意から「良い成績を取る」という意味になるよう (D) **get** を選びます。

get good grades 「良い成績を取る」

She got good grades in English

(彼女は英語で良い成績を取った)

17. 「このビルの屋上からは、ロンドンの街全体の素晴らしい景色を一望できます」

【語法(名詞)】パターン 難問

- ▶ この問題では、**have a () of ~** といったイディオム単位で考えた場合、それぞれ意味が異なることに気がつけるかがポイントとなります。

(A) **view** → **have a view of ~** 「~を眺める、~を展望する」

(B) **scene** → 「**have a scene of ~**」という語法を持たない

(C) **vision** → **have a vision of ~** 「~に対するビジョンがある」

(D) **look** → **have a look of ~** 「~の顔つきをしている」

以上から、正解は(A) **view** ということになります。

18. 「日本人はきれいな水を当たり前と考えていますが、世界のいくつかの地域ではこれは当てはまりません」

【文脈(慣用表現)】パターン

- ▶ 選択肢(A)~(C)までが形容詞であるのに対して、過去形(分詞)である(D) **granted** だけが異質です。この問題では問題文前半の節を見た瞬間に、

People in Japan **take** clean water **for** (), ...

と、問題集や熟語集でなじみのある慣用表現が思いつけるかがポイントとなります。take A for grantedで「Aを当然のことと思う」意味ですので、文意から(D) **granted** が正解になります。

take A for granted 「Aを当然のことと思う」

We take freedom of speech for granted.

(私たちは言論の自由を当然のことと思っている)

19. 「ジョージは高熱で今日は家に居なくてはなりません。それで彼は欠席扱いとなりました」

【語法(動詞)】パターン

- ▶ ... he was () absent. と受動態の形になっていることから、選択肢はすべて過去分詞です。このような場合は能動態に直して考えると分かりやすくなります。

[能動態] (His teacher) () **him** (=George) **absent**.
V(=動詞) O(=目的語) C(=補語)

構文から空欄に入るべき動詞はSVOCの語法を持つことが分かりました。このような語法を持つものは選択肢の中では(B) **marked** のみです。文意からも適当なのでこれが正解となります。

mark A B 「A(物・人)にBと印をつける」

The teacher marked her present.

(先生は彼女に出席の印をつけた)

20. 「その事故は昨日の何時に起こったのですか」

【文脈(動詞)】パターン

- ▶ コロケーションの問題です。選択肢はすべて自動詞の用法で「(問題などが)発生する」という意味をもちますが「事故が起こる」の意味で使われるのは(B) **occur** のみで、これが正解となります。

[例] *The nuclear accident occurred (=happened) at about 5:30 p.m.*

(その原子力事故は午後5時半ごろに起こった)